

北海道神社庁網走支部総代会設立五十周年記念講演会

皇室から考える

日本の国づくりと

伝統文化



急激に変化する現代にも、私たち日本人の心には、祖先より受継がれてきた豊かな精神が息づいています。その中心的存在として日本の天皇家・皇室は連綿とつづく伝統と文化を守り続けています。

この度、明治天皇の玄孫で旧宮家にあたり、現在慶應義塾大学講師の竹田恒泰先生を講師に招き、「皇室から考える、日本の国づくりと伝統文化」と題し講演会を開催します。

今こそ、私たちが何をどう子孫へ伝えていく事が大切なのか考えてみませんか？

●日時 平成22年7月11日 日 午後3時30分 (開場 午後3時00分)

●場所 ホテル黒部 (北見市北7条西1丁目 TEL(0157)23-2251・FAX(0157)23-5492)

●講師  竹田恒泰先生

たけだ つねやす

竹田恒泰先生

作家。慶應義塾大学講師(憲法学)。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫に当たる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』(小学館)で山本七平賞を受賞。その他著書に『皇室へのソボクなギモン』(扶桑社、共著)、『旧皇族が語る天皇の日本史』(PHP新書)、『皇統保守』(PHP)、『エコマインド～環境の教科書』(ベストブック)、『怨霊になった天皇』(小学館)などがある。また、平成21年10月、アパグループ第二回「真の近 現代史観」懸賞論文で最優秀藤誠志賞を受賞。

入場  
無料

■主催／北海道神社庁網走支部総代会

■後援／北海道神社庁網走支部・網走神道青年会

■お問い合わせ／北見市北2条東6-11 北見神社

電話 (0157) 23-4405